

兵庫県職員・採用案内



環境保全の
仕事人

環境科学職

環境科学職の主な配属先

🔌 環境科学職は、環境・科学的な専門知識を必要とする技術系職種の1つです。

事務系職種

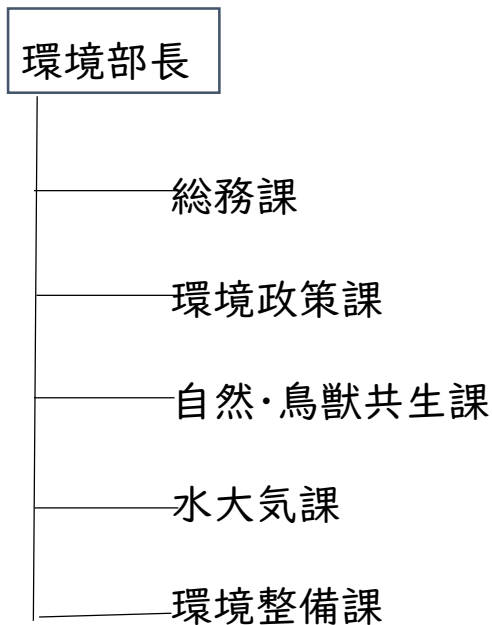
一般事務職、警察事務職、教育事務職 など

技術系職種

環境科学職、農学職、総合土木職、保健師 など

🔌 配属先は主に次の3つに分かれ、それぞれを経験しながら3年程度で異動します。
なお、年に一度希望調査があります。

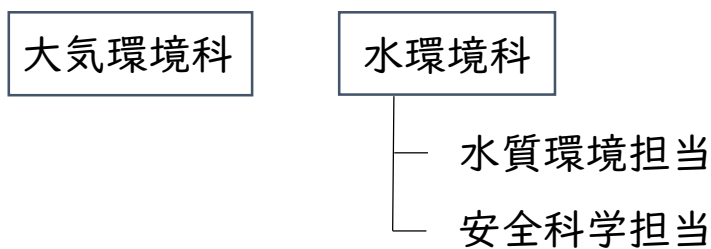
● 本庁環境部局



● 県民局環境課

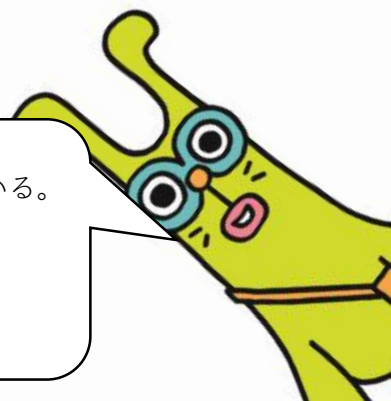
- ① 阪神北県民局
- ② 東播磨県民局
- ③ 北播磨県民局
- ④ 西播磨県民局
- ⑤ 但馬県民局
- ⑥ 丹波県民局
- ⑦ 淡路県民局

● 環境研究センター（研究部門）




ひょうご環境体験館マスコットひょうゴン

- 耳はひょうごの頭文字「ひ」の形をしていて、うさぎの耳のように、聴力がすぐれている。
- 鼻は「犬」のように嗅覚がするどく、足は「ダチョウ」のように俊敏。
- 翼があり、どこにでも飛んで行くことができる。
- 尻尾の先は地球のかたちをしている
- カバンをいつも持っていて中身は不明。
- ・・・というような、少しやんちゃで好奇心旺盛な謎の生物



7 県民局の特色 (環境版)

 兵庫県が摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の五国からできているように、県民局ごとに特色があります。

但馬県民局

夏といえば海水浴調査！安心して楽しめるよう水質検査をします。



丹波県民局

我が国有数の恐竜化石産出地であることを活かして環境学習を進めています。



西播磨県民局

最先端技術と豊かな自然が共存する播磨科学公園都市に位置する「ひょうご環境体験館」で体験型環境学習を進めています。



東播磨県民局

有名鉄鋼メーカーや化学メーカーが集積する県内有数の工業地帯が存在し、日々立入検査を行っています。



淡路県民局

古事記の冒頭を飾る「国生みの島」。人と自然が協働する「環境立島“公園島淡路”」を目指します。



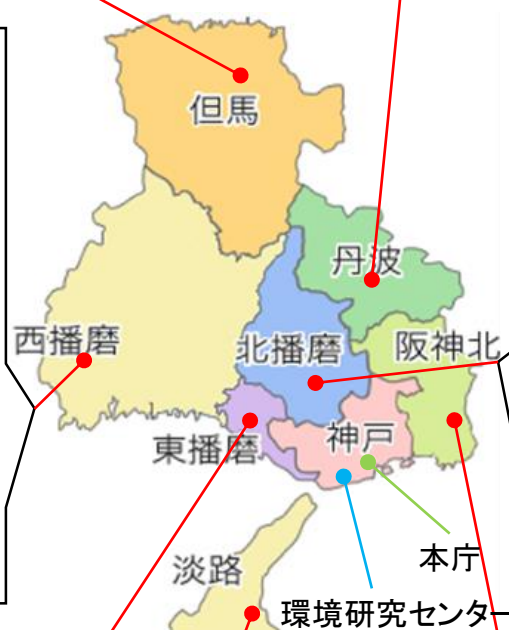
北播磨県民局

「日本のへそ」には我が国の資源循環の要となる企業が集積しており、幅広い業種に対して指導等を行っています。



阪神北県民局

住宅街から一足伸ばせば人と自然が共生する“里山”が広がり、里山の保全を行っています。



ひょうごの環境行政の施策



低炭素

地球温暖化対策として温室効果ガスを削減するため、兵庫県の資源や地域の特性を活かし、地域の活力を最大限に発揮できるような低炭素・脱炭素型の経済活動の推進などの取組を行っています。



自然共生

自然環境を良好に保ち、豊かな自然を保つため、生物多様性の保全、里海・瀬戸内海の再生などの取組を行っています。



資源循環

廃棄物を有効活用し、持続可能な消費と生産を目指すため、リサイクルの推進、海ごみ対策、廃棄物の適正処理の推進、不法投棄対策などの取組を行っています。



安全・快適

地域力



人の健康、環境への影響を未然に防ぎ、水・大気環境を保全するため、大気・水質汚染物質の継続監視、事業者への適切な処理の指導などを行っています。

環境学習・教育を通じた次代を担う人材を育成するため、地域の特色を活かした環境学習、市町・関西広域連合など、様々な主体との協働による取組を行っています。



●本庁環境部局

コマンダー

ひょうごの環境行政の司令塔！

施策の企画・立案業務

<デスクワーク>

環境問題の解決に向け、新たな施策を立案したり、既存施策を見直しする業務です。施策の内容に合わせて、必要な予算を準備することも重要な業務です。

★例えば、海洋プラスチックごみによる環境汚染では

リサイクルの促進、ポイ捨ての防止により、海洋プラスチックごみを発生させない取組を行っています。

また、海岸管理者や市町と連携して、海岸に漂着した海洋プラスチックごみの円滑な処理を図っています。

許認可業務・事業者指導

<現場&デスクワーク>

法律・条例に基づく申請・届出内容を審査する業務です。基準に適合しているか審査を行い、許可をするか判断します。法律・条例の改正等があれば、事業者向けの研修会を行うこともあります。

★例えば、廃棄物処理法では

廃棄物の埋立処分場の構造を図面や現地で確認し、許可の基準に適合しているか判断します。

また、建築物の解体工事で発生するアスベスト廃棄物を適正に処理するために、理解を深める研修会を行います。



▲ 事業者向けの研修会

市町との業務連携

<デスクワーク>

関係市町との連携を深めるため、合同研修や会議を行っています。

★例えば、災害廃棄物では

自然災害で発生する廃棄物は適正かつ迅速に処理する必要があります、市町との連携が極めて重要です。災害の発生に備えて合同研修を実施しています。



▲ 災害廃棄物に関する合同研修

● 県民局環境課

マイスター

ひょうごの環境最前線！

許認可事務 <デスクワーク>

法律・条例に基づく申請・届出内容を審査する業務です。
法律・条例の基準に適合しているか審査を行います。

★例えば、水質汚濁防止法では

工場に設置する施設の図面などの書類を確認して、川や海に流す排水が、基準に適合しているか確認します。

立入検査 <現場>

法律・条例に基づき工場等に立入検査をする業務です。
施設や管理記録を確認し、法令が遵守されているか検査します。

★例えば、水質汚濁防止法では

排水を採水し、検査を依頼して排水基準に適合しているか確認します。
また、施設の配置や使用状況を確認し、申請・届出内容のとおり運用されているか確認します。



▲工場の立入検査

環境測定・環境学習 <現場>

環境測定は、良好な自然環境や生態の保全を図るための基礎調査をする業務です。
環境学習は、環境の保護改善に参加する意欲を高めることを目的にした業務です。

★例えば、水質環境測定では

河川の水を採取し、水環境や汚濁の現状を把握します。

★例えば、環境学習では

小学校と連携し、川で水生生物の生息状況の調査を行います。



▲水質の環境測定



▲環境学習

●環境研究センター

ブレイン

ひょうごの環境の博士!

大気環境調査 <現場&デスクワーク>

大気汚染物質（PM2.5、光化学オキシダント、アスベスト等）を調査する業務です。

★例えば、PM2.5の調査では

PM2.5とは非常に小さい粒子状物質で、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸・循環器系への影響が心配されており、季節や気象条件などによって変動するため、常時監視して状況を把握しています。

（本庁環境部局と連携し、高濃度時には、本庁環境部局から注意喚起が行われます。）



▲分析装置の確認

水質環境調査 <現場&デスクワーク>

水質（河川、海水、地下水）・底質（土）・工場排水等の水環境を調査する業務です。瀬戸内海を豊かな海にするための研究を、大学等と連携して取り組んでいます。

★例えば、河川調査では

本庁環境部局と県民局環境課では連携して河川の水質の基礎調査や公表を行っています。

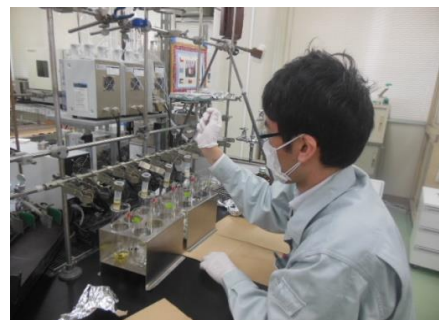
環境研究センターも連動し、採水された河川水の搬入を受け、環境基準項目や関係項目の分析・報告を行っています。

化学物質調査 <現場&デスクワーク>

水質・底質（土）・大気・生物等に含まれる化学物質（残留性有機汚染物質・農薬・生活由来化学物質・医薬品等）を調査する業務です。

★例えば、農薬調査では

国や大学などの研究機関と共同で食品の残留農薬を分析して実態を調査するとともに、微量分析法の研究開発や研究成果の発信を行っています。



▲有害化学物質の分析

主査 隈部 康晴（平成23年入庁）

本庁 環境整備課 循環型社会推進班



〈申請書類の審査業務〉

常に現場を忘れず、よりよい施策を作れるよう頑張っています！

1日の流れ



○環境科学職の良いところ

人数が多い職種ではありませんが、その分みんなが顔見知りで、困ったときに協力し合えるところが良いところだと思います。

○成長したこと

多くの人と出会い、様々な考え方に触れたことで、見聞が広がり、物事を多角的に捉えることができるようになりました。

そのことが事業者指導や施策の検討等、今の仕事の糧になっています。

○受験者へのメッセージ

環境科学職は環境問題全般を扱う職種です。県民局では現場を回ることが多いですが、本庁では現場で得たものを施策に反映させることができます。

皆さんも兵庫の環境のために働きませんか？

職員 里見 太輔（令和3年入庁、県外出身）

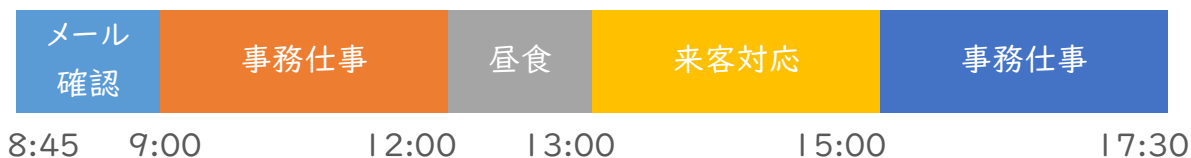
本庁 環境政策課 温暖化対策班



〈温暖化対策の相談電話対応中〉

県の条例や補助金等の問い合わせに、すばやく対応できるように勉強中です。

1日の流れ



○県外から志望した理由

大学院への進学をきっかけに兵庫県に引っ越してきました。昆虫の研究を通して淡路島から日本海側まで駆け巡る中で、豊富な自然と住みやすい町並みに魅力を感じ、これらの環境に携われる環境科学職を志望しました。

○やりがいを感じる瞬間

入庁後すぐに新しい取組として、地球温暖化防止活動を推進する大学生チームの立ち上げを担当させていただきました。自身の仕事が形になっていく過程に日々やりがいを感じています。

○受験者へのメッセージ

環境問題全般に関われるやりがいのある職業です！

魅力溢れる兵庫に腰を据えて一緒に働きませんか。

主査 堀江 洋佑 (平成19年入庁)

淡路県民局交流渦潮室環境課



<児童たちと仲良く調査>
児童たちと行う水生生物調査では
童心を忘れません！

1日の流れ(出張なしver)



○長年続けられる理由

今でも知らないことや新しいことに直面するため、仕事に飽きないことが長年続けられる理由と考えています。忙しい時期もありますが、仕事と私生活の両立ができることも長年続けられる理由です。

○成長したこと

業務に必要な知識や技術、コミュニケーション能力は日々の業務の中で身につきます。しかし、**最も重要なのは課題に直面した際に、負けずに取り組む気持ちの強さであると感じています。**

○受験者へのメッセージ

環境科学職の業務の内容は大気・水質・廃棄物等多岐にわたり、勤務する場所によっても業務内容が大きく異なりますが、どの部署においても新たな発見があるのではないのでしょうか。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

職員 鵜池 紗希 (平成31年入庁、民間企業から転職)

東播磨県民局地域振興室環境課



<立入検査の様子を後輩視点で>
アスベスト除去工事では作業状況を入念に確認するよう心がけています。

1日の流れ(出張ありVer.)



○志望した理由

幼少期から、但馬では登山やスキー、淡路では釣り等、兵庫県の自然の中で遊ぶことが多く、この豊かな自然を残したいと思っていました。

そこで、利益のために仕事をするより、人や環境のために仕事をしたいと思い、民間企業から公務員を目指しました。

○成長したこと

入庁直後は、立入検査時における事業者指導が苦手でしたが、頼りになる先輩が沢山いるので心強かったです。

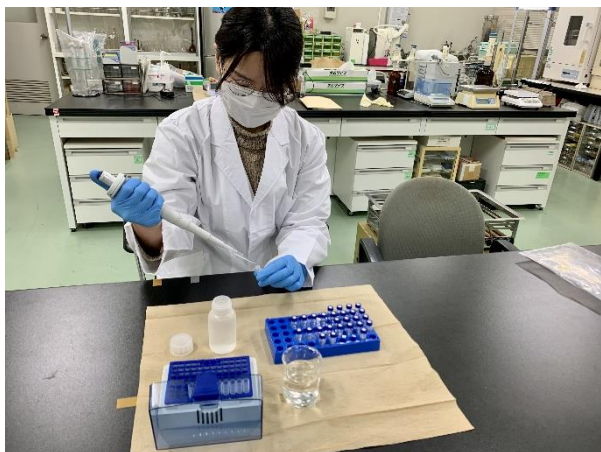
今では後輩と立入検査に行っています！

○受験者へのメッセージ

人と生物が共存可能な環境を守る、やりがいのある仕事です。ぜひ一緒に兵庫県の環境を守りましょう！

職員 二村 綾美 (平成29年入庁)

兵庫県環境研究センター



〈分析サンプルとにらめっこ〉
PM2.5の分析を行う前処理中!
ろ紙から抽出したサンプルをバイアルに詰
めている作業の様子です。

1日の流れ



○環境科学職の良いところ

全体的に穏やかな人が多いです。環境分野に特化しているため、専門的な知識が身につきます。

○仕事で成長できたこと

PM2.5について研究していますが、行政ではなかなか知りえないPM2.5についての専門知識や測定・分析技術を新たに身につけることができました。

また、研究の専門家である先生方と交流できる機会があり、より深い知見と幅広い人脈を得られました。

○受験者へのメッセージ

県職員というと行政の仕事のイメージですが、環境科学職では希望により、環境研究センターで研究員として働くことも可能です。

行政の仕事もしたいけど、環境問題についての研究にも興味あるという人には特におすすめです。

プロフィール

- 1:身長160cm
- 2:体重ヒミツ♡
- 3:入庁13年目
- 4:子2人
- 5:休日は公園でお散歩



Q. 子育てと仕事の両立は大変じゃないですか?

楽というウソになりますね。育休からの復帰にあたって仕事の内容を覚えてるかなと不安もありましたが、周囲のサポートもあって頑張ってます!

Q. 県職員試験を受けるみんなにひとこと!

女性だけでなく男性も含め、これから何十年と続く人生では、結婚、子育て、親の介護など自分の状況は変わっていきます。自分の状況が変わっても、職場の理解があるので、変わらず仕事を続けられる良い職場です!

プロフィール

- 1:身長173cm
- 2:体重60kg♠
- 3:入庁21年目
- 4:子2人
- 5:平日は晩ご飯を作り、休日はオーケストラ



Q. 家族との時間は充実していますか?

基本的に土日は休みで、平日も全庁的に定時退庁の日があって、家族との時間を楽しんでいます。娘のピアノの練習を見守ることが日課です。

Q. 県職員試験を受けるみんなにひとこと!

残業することもあります。男性でも子どもの授業参観など学校行事のために休暇を取れる制度もあるので、安心して子育てもできます。

仕事も家庭も両立できる雰囲気の良い職場ですよ。

環境科学職に関するQ & A

Q. 環境系の学部ではありませんが、大丈夫ですか？

また、入庁前に持っておいた方がよい資格はありますか？

A. 受験資格があれば、環境系の学部でなくても全く問題ありません！

(受験資格は、問い合わせ先の採用試験情報に記載しています。)

入庁後に法律を自分で学んだり、先輩職員と一緒に事業場へ立入検査を行い、立入時の見方や事業者指導等について教えてもらえるので、入庁後に学ぶ知識も多いです。

入庁前に必ず取得する必要はありませんが、公害防止管理者の資格を持っていると役に立ちます。

Q. 入庁後の研修内容や頻度について知りたいです。

A. 例年、4月に淡路島での合宿研修、9月には東日本大震災の被災地でのボランティアなど、新規採用職員全体の研修があります。

(新型コロナウイルスの影響により、期間が短縮されるなど実施内容が変わる可能性があります。)

環境科学職では、新規採用職員研修とは別に技術継承や職員間の交流を目的とした**独自の研修**もあります！

[環境科学職TUF (Team Up for the Future)]



令和3年度から若手職員を中心とした交流会がスタートしました。

普段の業務の中で知りたい疑問について、先輩方と勉強できる場です。

[技術研修会]

立入検査の技術等について理解を深めるために、事例紹介やグループディスカッションを行なう技術研修会も毎年実施しています。



▲環境科学職TUF

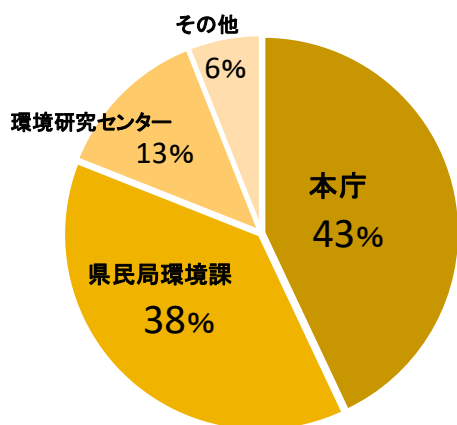


▲技術研修会

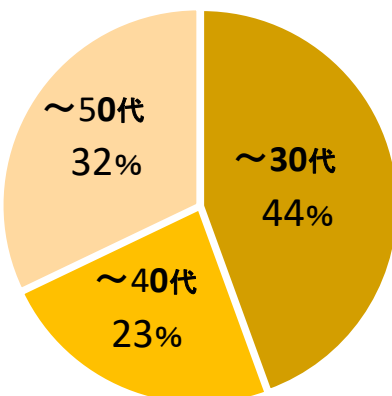
環境科学職に関するQ & A

Q. 環境科学職の①人数、②配属状況、③年齢割合、④男女比

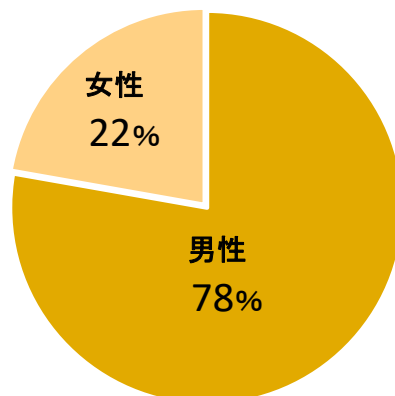
A. 81人が主に本庁、県民局、研究センターに配属されています。30代以下の若手の割合が最も高く、女性は2割です（令和3年度時点）。子育て中のママさん職員も活躍しています。



【配属状況】



【年齢割合】



【男女比】

Q. オフの日はどのように過ごしていますか？ 環境科学職同士での繋がりがありますか？

A. オフの日はそれぞれが家族と過ごしたり、趣味に没頭しています。環境科学職の有志を募り、スキーツアーに行くこともあります。平日はしっかり仕事をして、オフの日は思いっきり楽しむ、メリハリが大切です！



▲有志によるスキーツアー
初心者も参加可能です！



▲オフの日の様子
オンオフの切り替え大事！

採用試験の概要 詳細は問い合わせ先の「採用試験情報」を参照

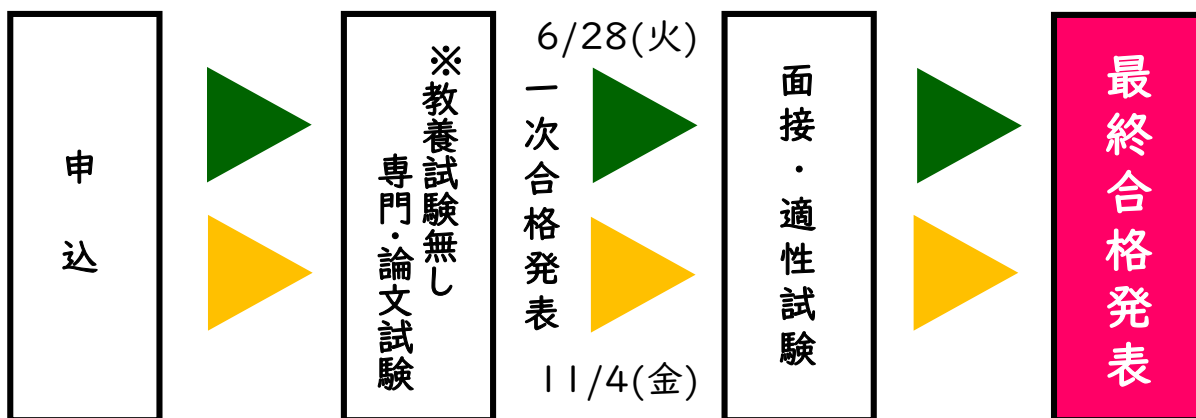
試験内容

- 特徴 筆記試験は専門試験と論文試験のみ(教養試験はありません)
- 最終合否は最終面接試験結果等に基づき決定

採用スケジュール

【行政A(大卒程度・環境科学職)の場合】▶:行政Aの採用スケジュール

4/25(月) ~5/27(金) 6/19(日) 7/4(月) ~7/22(金) のうち1日 8/10(水)



【経験者採用(環境科学職A・B)の場合】▶:経験者の採用スケジュール

8/22(月) ~9/16(金) 10/2(日) 11/12(土) ~12/11(日) のうち1日(土日祝) 12/23(金)

※なお、経験者採用(環境科学職A・B)の募集については、令和4年4月1日時点で未定です。

採用状況

【行政A(大卒程度・環境科学職)の場合】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受験者数	8人	13人	10人	8人
合格者数	4人	3人	3人	3人
競争率	2.0倍	4.3倍	3.3倍	2.7倍

【経験者採用(環境科学職A・B)の場合】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受験者数	6人	—	7人	—
合格者数	2人	—	3人	—
競争率	3.0倍	—	2.3倍	—

問い合わせ先

兵庫県庁 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1

○環境科学職の業務に関すること

兵庫県環境部総務課 [県庁1号館2階]

TEL078-341-7711(代表) 内線3322

■ひょうごの環境HP <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp>

○その他、採用一般に関すること

兵庫県人事委員会事務局任用課 [県庁3号館8階]

TEL078-341-7711(代表) 内線5920、5921

■採用試験情報 <https://web.pref.hyogo.lg.jp/recruit/index.html>

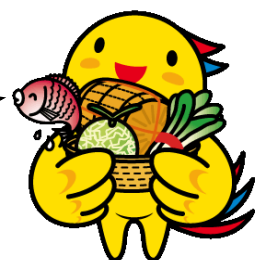
兵庫県の環境について、
詳しくはこちらへ →
(ひょうごの環境HP)



採用試験情報について、
詳しくはこちらへ →
(兵庫県HP)



たくさんの申し込みをお待ちしております!!
兵庫県の環境のため、ともに働きましょう!!



兵庫県マスコットはばタン

<表紙の写真>



<表紙の写真の説明>

